

## 「ヒロシマから世界へ」 ふるさと納税制度を活用した取組の開始について

### 1 目的

昨今、ふるさと納税に関しては、高額な贈呈品等による自治体間の競争が過熱しているような状況にあります。

こうした中、オバマ大統領の広島訪問を契機に、被爆の実相を守り、広め、伝えていくこと、すなわち平和の思いを共有し、一人一人が平和の思いを世界へ広めていくための取組がますます重要になってきています。

このため本市では、ふるさと納税の意義に立ち戻り、「納税」と「平和への思いの共有」を結びつけ、国民レベルでの平和発信の取組を促す契機とするため、「ヒロシマから世界へ」をスローガンとする新たなふるさと納税の取組を開始します。

### 2 ふるさと納税の用途

青少年同士の交流支援、被爆建物・被爆樹木の保存・継承、平和記念資料館の被爆資料の劣化の防止など、被爆の実相を守り、広め、伝える事業に充当します。

### 3 贈呈品

①ふるさと納税していただいた全員に送付するもの

- ・被爆体験証言DVD
- ・平和宣言（折り鶴再生紙に印刷したもの）

②ふるさと納税していただいた額に応じて送付するもの

- ・「図録 ヒロシマを世界に」広島平和記念資料館編・発行 ※1
- ・「図録 原爆の絵 ヒロシマを伝える」広島平和記念資料館編／岩波書店 ※1
- ・「広島の木に会いに行く」石田優子著／偕成社
- ・「原爆市長 復刻版」浜井信三著／シフトプロジェクト
- ・折り鶴再生製品

※1 この2冊はオバマ大統領に記念品として贈呈しました。

※2 ふるさと納税の額が1万円以上5万円未満の方に対してはこれら5品の中から1品を、5万円以上の方に対しては5品すべて送付します。

### 4 開始時期

平成28年7月7日